

平成 2 4 年度

(第 1 / 3 回)

(集団研修)

農村開発のための
畑地帯における農業基盤整備

実施要領

平成 2 4 年 5 月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 背景・目的	1
3. 上位目標	2
4. 案件目標	2
5. 単元目標	2
6. 研修成果品	2
7. 研修員参加資格要件	3
8. 研修実施体制	3
9. 研修の評価	4
10. 研修付帯プログラム	4
11. 主な宿泊場所	5
12. その他	5

参考資料

- 付表－1 研修員関連情報
- 付表－2 カリキュラム表
- 付表－3 研修日程表（予定）
- 付表－4 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文：（集団研修）農村開発のための畑地帯における農業基盤整備

英文：Group Training Program on “Agricultural Infrastructure Improvement in Upland Crop Farming Areas for Rural Development”

(2) 受入期間

平成 24 年 5 月 14 日（月）～ 8 月 3 日（金）

(3) 技術研修期間

平成 24 年 5 月 21 日（月）～ 8 月 2 日（木）

(4) 受入人数、割当国

受入人数：10 名

割当国（受入国）：アフガニスタン、ブータン、マラウイ、モザンビーク、ミャンマー、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ジンバブエ、スーダン

(5) 研修類型：人材育成普及型

(6) 使用言語：英語

2. 背景・目的

途上国での農業生産性が低い主な要因の一つが、農業基盤の未整備である。肥沃であっても未整備であるがために、灌漑地の拡大や排水不良地の農地転用が進んでいない例や、傾斜地への無理な作付け等、土壌保全面だけでなく、農地の効率的な利用がなされていない例が多い。また、整備事業に着手したとしても、計画や設計、施工管理の段階で専門的知識や環境社会配慮が十分でなかった結果、計画通りに通水しない水路、利用されない農業用ため池、工期の遅れ、割高な工費などの問題も生じている。これらの問題の背景としては、農業基盤整備（水利事業、農地整備、農地防災等）の分野において、事業計画の立案や設計、施工管理、品質管理を直接実施したり大きく関与する立場にある主任クラスの上級技術者の専門的知識・技術が大幅に不足していることが挙げられ、民間コンサルタントや施工業者が十分に育っていない途上国では、事業を直営で実施する公的機関における

人材育成が第一に求められている。そこで、本案件では、途上国の農業基盤整備事業実施機関の計画立案および設計、施工管理能力が向上することを目的とする。

3. 上位目標

農業基盤整備事業実施機関の計画立案および設計、施工管理能力が向上する。

4. 案件目標

農業基盤整備事業の計画及び施工管理に関する専門的知識が同事業実施機関の部署の技師によって共有され、これを活かした事業計画の検討が始まる。

5. 単元目標

- (1) 農業基盤整備事業における法制度、計画策定までのプロセス、事業の実施体制、環境配慮等について、自国の課題を特定できる。
- (2) 技術レベル・経済性・環境社会配慮の観点から基盤整備事業の妥当性を判断できる。
- (3) 農業基盤整備事業における代表的な工法および汎用性が高い専門的知識・技術を説明できる。
- (4) 施工管理や安全対策に係る専門的知識・技術を説明できる。

6. 研修成果品

ア) 本邦研修実施前

「初期計画書 (Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題や、それに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

イ) 本邦研修終了時

「中間計画書 (Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に活動計画(案)を作成し、コース終盤に発表する。

ウ) 帰国後の事後活動

「最終計画書 (Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間計画書に書かれた活動計画(案)を所属組織に報告、関係者と共有のうえ、最終的な活動計画としてまとめ、帰国後3ヶ月以内にJICAに提出する。JICAは同計画書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

7. 研修員参加資格要件

募集要項記載条件

- ア. 畑作農業に関わる農業基盤整備(灌漑排水、農地整備、農地防災)の調査計画、設計、あるいは施工管理、設計管理の経験がある主任技術者。
- イ. 上記分野で3年以上の実務経験を有する者。
- ウ. 50歳未満の者。

各案件共通資格要件

- ア. 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- イ. 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- ウ. TOEFL iBT 72点(CBT 200点/PBT 533点)以上に相当する英語能力を有すること。
- エ. 心身ともに健康なこと。
- オ. 軍に属していないこと。

8. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構北海道国際センター(帯広)(以下JICA帯広)が研修コースを計画し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中は、JICA登録の研修監理員を配置する。具体的業務は次のとおり。

JICA 帯広

ア. 実施計画書作成（案件目標、研修期間等）

イ. 日程表の調整・作成

ウ. 講師、視察先等への連絡・確認

エ. テキスト、資料等の手配

オ. 実施予算の執行管理

カ. 通訳・翻訳（研修監理員による対応）

キ. 評価 等

9. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による単元目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 帯広、コースリーダー、講師等が参加し、研修の目標・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降の改善に向けて対応方針を検討する。

10. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に JICA 帯広で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅

券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

JICA 帯広で実施し、日本の社会と日本人、歴史・文化、政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として 10 時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
5 月 15 日（火）	ブリーフィング
16 日（水）	ジェネラルオリエンテーション 日本語講習（夜間）
17 日（木）	ジェネラルオリエンテーション 日本語講習（夜間）
18 日（金）	日本語講習（夜間）

11. 主な宿泊場所

北海道国際センター（帯広）（JICA 帯広）

所在地：〒080-2470 帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

12. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校の生徒や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上



独立行政法人国際協力機構 北海道国際センター（帯広）
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL：0155-35-1210 FAX：0155-35-1250
ホームページ：www.jica.go.jp/obihiro/
メール：jicaobic@jica.go.jp

案件目標：農業基盤整備事業の計画及び施工管理に関する専門知識が同事業実施機関の部署の技師によって共有され、これを活かした事業計画の検討が始まる。

単元目標1：農業基盤整備事業における法制度、計画策定までのプロセス、事業の実施体制、環境配慮等について、自国の課題を特定できる。					
研修項目	講義	視察	実習	討論	担当機関・講師（敬称略）
コースオリエンテーション/行政組織の概要	0.5				帯広開発建設部次長 日置 綾人
PCM手法	1.5		1.5		アイ・シー・ネット株式会社 佐阪 剛
レポート作成指導/レポート発表会（準備含む）				5.0	JICA帯広
十勝農業の概要	0.5				十勝総合振興局産業振興部農務課長 山下 満
食糧事情と法体系	0.5				帯広開発建設部土地改良情報対策官 加藤 広宣
農協組織	0.5	0.5			十勝農業協同連合会専務理事 佐藤 文俊/農協連施設
十勝の気象と農業水文	0.5				（財）日本気象協会北海道支社帯広支店長 丸谷 聖一
土地改良区の概要	0.5				十勝総合振興局産業振興部調整課指導企画係長 谷島 健一 十勝総合振興局産業振興部調整課主査 石坂 剛
十勝の農業農村整備事業	0.5				帯広開発建設部農業整備課 高橋 雅一
小計	5.0	0.5	1.5	5.0	
単元目標2：技術レベル・経済性・環境社会配慮の観点から基盤整備事業の妥当性を判断できる。					
研修項目	講義	視察	実習	討論	担当機関・講師（敬称略）
十勝の道路整備	0.5	0.5			帯広開発建設部道路計画課長 竹下 正一
営農計画と事業効果	0.5				帯広開発建設部土地改良情報対策官 加藤 広宣
農地防災事業	0.5	0.5			帯広開発建設部帯広農業事務所長 菊池 誠
十勝の河川整備	0.5	0.5			帯広開発建設部治水課上級治水専門官 青木 二郎
畑地かんがい施設		1.0			旭川開発建設部土地改良情報対策官 工藤 俊隆 旭川開発建設部富良野地域農業開発事業所、富良野土地改良区
深川土地改良区		0.5			深川土地改良区参事 中嶋 一隆
国営農地再編整備事業	0.5	0.5			帯広開発建設部鹿追地域農業開発事業所長 門間 修
ダムの計画と設計	0.5	0.5			帯広開発建設部帯広農業事務所長 菊池 誠
家畜糞尿によるバイオガスプラントの事例	0.5				北海道バイオマスリサーチ株式会社エネルギー調査部次長 竹内 良曜
人工衛星による農業への活用	0.5		0.5		NPOすけっと百人会 荒金 章次 ㈱ズコーシャ 米山 晶
習得した技術と土地改良区の適用に係る留意事項と事例研究	1.0				JICA国際協力専門員 金森 秀行
工事費の積算と工程表	1.0				JICA国際協力専門員 金森 秀行
近畿農政局加古川水系広域農業水利施設総合管理所		0.5			近畿農政局加古川水系広域農業水利施設総合管理所所長 井手原 克澄
東播用水土地改良区		0.5			東播用水土地改良区事務局長 福田 信幸
愛知用水土地改良区		1.0			愛知用水土地改良区総務課長 柴田 喜光
事業実施と環境（生態系含む）対策	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 荒金 章次 ㈱ズコーシャ 堤 公宏
農業試験研究機関と農業機械	0.5	0.5			（独法）農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター芽室研究拠点研究調整役 森 元幸
広域的連携	0.5				財団法人十勝圏振興機構事務局長 中尾 啓伸
開かれた農村とファームイン	0.5	0.5			十勝総合振興局産業振興部農務課農業支援係長 菅 浩和
建設副産物の再利用	0.5	0.5			帯広開発建設部技術管理課長 吉田 晃啓
小計	8.5	8.0	0.5	0.0	
単元目標3：農業基盤整備事業における代表的な工法および汎用性が高い専門的知識・技術を説明できる。					
研修項目	講義	視察	実習	討論	担当機関・講師（敬称略）
十勝の土壌（Ⅰ）（概論）	0.5		0.5		NPOすけっと百人会 山岸 晴見 ㈱ズコーシャ 丹羽 勝久、廣永 行亮
十勝の土壌（Ⅱ）（水分特性）	0.5		0.5		NPOすけっと百人会 山岸 晴見 ㈱ズコーシャ 丹羽 勝久、廣永 行亮

研修項目	講義	視察	実習	討論	担当機関・講師（敬称略）	付表-2
十勝の保安林と治山対策	0.5	0.5			十勝総合振興局産業振興部林務課長 工藤 森生 十勝総合振興局産業振興部森林保全係長 高橋 嘉一 十勝総合振興局産業振興部治山計画係長 中村 一嘉	
農用地開発事業	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 鈴木 一弘	
農道整備事業	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 寺端 弘勝	
排水路と暗渠排水	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 藤原 正之	
畑地かんがい	0.5	0.5			帯広開発建設部鹿追地域農業開発事業所長 門間 修	
畑地かんがい 末端施設計画と設計	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 青沼 時雄	
道営等農業農村整備事業の内容	0.5	0.5			十勝総合振興局産業振興部整備課長 坂部 浩明	
頭首工の計画と設計	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 小杉山 賢	
パイプラインの計画と設計	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 横堀 将	
土木材料の特性と活用（土質関係）	0.5		0.5		NPOすけっと百人会 山岸 晴見 ㈱ズコーシャ 高橋 宣之、藤崎 浩孝	
土木材料の特性と活用（コンクリート関係）/設計のための地盤調査	0.5		0.5		NPOすけっと百人会 山岸 晴見 ㈱ズコーシャ 井上 誠司、久保 直樹	
小計	6.5	4.5	2.0	0.0		
単元目標4：施工管理や安全対策に係る専門的知識・技術を説明できる。						
研修項目	講義	視察	実習	討論	担当機関・講師（敬称略）	
PD法	1.0		2.0		JICA帯広 プログラムコーディネーター 木下秀俊	
工事の施工計画と安全対策	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 岩城 勝義	
出来高管理、品質管理	0.5	0.5			NPOすけっと百人会 小笠原 武	
小計	2.0	1.0	2.0	0.0		
合計	22.0	14.0	6.0	5.0		

研修日程表（予定）

4月27日現在

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等		研修場所	宿泊先
				氏名 (敬称略)	所属先及び職位		
5/14(月)	～		来日				帯広
5/15(火)	～		ブリーフィング		JICA帯広	JICA帯広	
5/16(水)	～		ジェネラルオリエンテーション		JICA帯広	JICA帯広	
	～		日本語講習		JICA帯広	JICA帯広	
5/17(木)	～		ジェネラルオリエンテーション		JICA帯広	JICA帯広	
	～		日本語講習		JICA帯広	JICA帯広	
5/18(金)	9:15 ～ 9:45		帯広市表敬訪問		帯広市役所親善交流課	帯広市役所	
		発表	インセプションレポート発表会準備		JICA帯広	JICA帯広	
	～		日本語講習		JICA帯広	JICA帯広	
5/19(土)	～		休日				
5/20(日)	～		休日				
5/21(月)	10:30 ～ 12:00	講義	コースオリエンテーション/行政組織の概要	日置 綾人	帯広開発建設部 次長	JICA帯広	
	13:30 ～ 16:30	発表	インセプションレポート発表会		JICA帯広	JICA帯広	
	16:30 ～ 17:00		交流会		JICA帯広	JICA帯広	
5/22(火)	9:30 ～ 16:00	講義	PCM手法	佐阪 剛	アイ・シー・ネット株式会社	JICA帯広	
5/23(水)	9:30 ～ 16:00	講義	PCM手法	佐阪 剛	アイ・シー・ネット株式会社	JICA帯広	
5/24(木)	9:30 ～ 16:00	講義	PCM手法	佐阪 剛	アイ・シー・ネット株式会社	JICA帯広	
5/25(金)	9:30 ～ 16:00	実習	レポート作成指導1（問題分析、目的分析、T//Nの説明）	木下 秀俊	JICA帯広 プログラムコーディネーター	JICA帯広	
5/26(土)	～		休日				
5/27(日)	～		休日				
5/28(月)	9:30 ～ 11:30	講義	十勝農業の概要	山下 満	十勝総合振興局産業振興部 農務課長	JICA帯広	
	13:30 ～ 16:00	講義	十勝の気象と農業水文	丸谷 聖一	一般財団法人 日本気象協会 北海道支社 帯広支店長	JICA帯広	
5/29(火)	9:30 ～ 11:30	講義	道営等農業農村整備事業の内容	坂部 浩明	十勝総合振興局産業振興部 整備課長	JICA帯広	
	13:00 ～ 16:30	見学				士幌西部南地区、居辺地区	
5/30(水)	9:30 ～ 11:30	講義	農協組織	佐藤 文俊	十勝農業協同連合会 専務理事	JICA帯広	
	13:30 ～ 15:00	見学		小谷 晴夫	(財)北海道農業公社十勝支所機械センター 所長	(財)北海道農業公社十勝支所機械センター	
	15:00 ～ 16:30	見学		佐藤 文俊	十勝農業協同連合会 農産化学研究所	十勝農業協同連合会 農産化学研究所	
5/31(木)	9:30 ～ 11:30	講義	十勝の道路整備	竹下 正一	帯広開発建設部 道路計画課長	JICA帯広	
	13:00 ～ 17:00	見学				北海道横断自動車道 釧勝トンネル工事現場（浦幌）	
6/1(金)	9:30 ～ 12:00	講義	土地改良区の概要	谷島 健一 上田 史生	十勝総合振興局産業振興部 調整課指導企画係長 十勝総合振興局産業振興部 調整課 主査	JICA帯広	
	13:30 ～ 16:00	講義	食糧事情と法体系	加藤 広宣	帯広開発建設部 土地改良情報対策官	JICA帯広	
6/2(土)	～		休日				
6/3(日)	～		休日				
6/4(月)	9:30 ～ 12:00	講義	十勝の農業農村整備事業	高橋 雅一	帯広開発建設部 農業整備課	JICA帯広	
	13:30 ～ 16:00	講義	営農計画と事業効果	加藤 広宣	帯広開発建設部 土地改良情報対策官	JICA帯広	
6/5(火)	9:30 ～ 11:30	講義	農地防災事業	菊池 誠	帯広開発建設部 帯広農業事務所長	JICA帯広	
	13:00 ～ 16:30	見学				下浦幌地区 排水機場、排水路、ほ場	
6/6(水)	9:30 ～ 16:00	講義	十勝の土壌（Ⅰ）（概論）	山岸 晴見 丹羽 勝久 廣永 行亮	NPOすけっと百人会 榊ズコーシャ	(有)チカファーム 帯広八千代農場	
6/7(木)	9:30 ～ 16:00	講義	十勝の土壌（Ⅱ）（水分特性）	山岸 晴見 丹羽 勝久 廣永 行亮	NPOすけっと百人会 榊ズコーシャ	JICA帯広	
6/8(金)	9:30 ～ 11:30	講義	十勝の河川整備	青木 二郎	帯広開発建設部 治水課 上級治水専門官	JICA帯広	
	13:00 ～ 17:00	見学				十勝川インフォメーションセンター、十勝川千代田堰堤、十勝川千代田新水路	
6/9(土)	～		休日				
6/10(日)	～		移動（帯広→富良野）				富良野
6/11(月)	10:00 ～ 16:00	見学	畑地かんがい施設	工藤 俊隆	旭川開発建設部 土地改良情報対策官 旭川開発建設部 富良野地域農業開発事業所 富良野土地改良区	麓郷展望台、頭首工、ファームランド、畑地かんがい施設、忠別ダム	旭川
6/12(火)	9:30 ～ 12:00	見学	深川土地改良区	中嶋 一隆	深川土地改良区 参事	深川土地改良区、頭首工、頭首工管理棟、揚水機場、水源地区	
6/13(水)	～		移動（旭川→帯広）				JICA帯広
6/14(木)	9:30 ～ 16:00	実習	レポート作成指導2（T/N貼付、アクションプランへの道筋）	木下 秀俊	JICA帯広 プログラムコーディネーター	JICA帯広	
6/15(金)	～		学校訪問		十勝インターナショナル協会		
6/16(土)	～		休日				
6/17(日)	～		休日				

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等		研修場所	宿泊先
				氏名 (敬称略)	所属先及び職位		
6/18(月)	9:30 ~ 11:30	講義	国営農地再編整備事業	門間 修	帯広開発建設部 鹿追地域農業開発事業所長	JICA帯広	帯広
	13:00 ~ 16:00	見学				中鹿追地区 JA鹿追コントラ課	
6/19(火)	9:30 ~ 11:30	講義	十勝の保安林と治山対策	工藤 森生 高橋 嘉一 中村 一嘉	十勝総合振興局産業振興部 林務課長 十勝総合振興局産業振興部 森林保全係長 十勝総合振興局産業振興部 治山計画係長	JICA帯広	
	13:00 ~ 16:30	見学				保安林改良事業施工地（帯広市泉町）、 治山事業施工地（池田町字千代田）	
6/20(水)	9:30 ~ 11:30	講義	農用地開発事業	鈴木 一弘	NPOすけっと百人会	JICA帯広	
	13:30 ~ 16:30	見学				上士幌東地区第51工区	
6/21(木)	9:30 ~ 12:00	講義	農道整備事業	寺端 弘勝	NPOすけっと百人会	JICA帯広	
	13:30 ~ 16:00	見学				東栄3期地区第51工区（更別村）	
6/22(金)	9:30 ~ 12:00	講義	排水路と暗渠排水	藤原 正之	NPOすけっと百人会	JICA帯広	
	13:30 ~ 16:00	見学				美蔓第1幹線排水路（芽室町祥栄地区）、 売買川分水工	
6/23(土)	～		休日				
6/24(日)	～		休日				
6/25(月)	9:30 ~ 11:30	講義	建設副産物の再利用	吉田 晃啓	帯広開発建設部 技術管理課長	JICA帯広	
	13:00 ~ 16:00	見学				未定	
6/26(火)	9:30 ~ 11:30	講義	畑地かんがい	門間 修	帯広開発建設部 鹿追地域農業開発事業所長	JICA帯広	
	13:00 ~ 16:00	見学				屈足ダム、美蔓貯水池	
6/27(水)	9:30 ~ 11:30	講義	ダムの計画と設計	菊池 誠	帯広開発建設部 帯広農業事務所長	JICA帯広	
	13:00 ~ 16:00	見学				幕別ダム	
6/28(木)	9:30 ~ 11:30	講義	頭首工の計画と設計	小杉山 賢	NPOすけっと百人会	JICA帯広	
	13:00 ~ 17:00	見学				札内川ダム、札内川頭首工	
6/29(金)	9:30 ~ 11:30	講義	バイブラインの計画と設計	横堀 将	NPOすけっと百人会	JICA帯広	
	13:00 ~ 16:00	見学				上札内分水工	
6/30(土)	～		休日				
7/1(日)	～		休日				
7/2(月)	9:30 ~ 12:00	講義	家畜糞尿によるバイオガスプラントの事例	竹内 良曜	北海道バイオマスリサーチ㈱ エネルギー調査部 次長	JICA帯広	
	9:30 ~ 12:00	講義	広域の連携	中尾 啓伸	（財）十勝圏振興機構 事務局長	（財）十勝圏振興機構	
7/3(火)	9:30 ~ 11:30	講義	畑地かんがい 末端施設計画と設計	青沼 時雄	NPOすけっと百人会	JICA帯広	
	13:00 ~ 17:00	見学				笹井農場（幕別町）、㈱ティーツー工業廃棄物処理場	
7/4(水)	9:30 ~ 12:00	講義	人工衛星による農業への活用	荒金 章次 米山 晶	NPOすけっと百人会 ㈱ズコーシャ	㈱ズコーシャ総合科学研究所	
	13:30 ~ 17:00	実習					
7/5(木)	9:30 ~ 11:30	講義	事業実施と環境（生態系含む）対策	荒金 章次 堤 公宏	NPOすけっと百人会 ㈱ズコーシャ	JICA帯広	
	13:00 ~ 16:30	見学				更別村タラサキ排水路、更別村駒島付近排水路、帯広第八中学校付近	
7/6(金)	9:30 ~ 11:30	講義	工事の施工計画と安全対策	岩城 勝義	NPOすけっと百人会	JICA帯広	
	13:00 ~ 16:30	見学				上音更地区シケン川排水路工事現場	
7/7(土)	～		休日				
7/8(日)	～	見学	国際トラクターBAMBA				
7/9(月)	～		休日				
7/10(火)	～		移動（帯広→神戸）				
7/11(水)	10:00 ~ 12:00	見学	近畿農政局加古川水系広域農業水利施設総合管理所	井手原 克澄	近畿農政局加古川水系広域農業水利施設総合管理所 所長	近畿農政局加古川水系広域農業水利施設総合管理所	神戸
	13:00 ~ 16:00	見学	東播用水土地改良区	福田 信幸	東播用水土地改良区 事務局長	東播用水土地改良区	
7/12(木)	～		移動（神戸→名古屋）				名古屋
7/13(金)	10:00 ~ 16:00	見学	愛知用水土地改良区	柴田 喜光	愛知用水土地改良区 総務課長	愛知用水土地改良区	
7/14(土)	～		移動（名古屋→帯広）				
7/15(日)	～		休日				
7/16(月)	～		休日（祝日）				
7/17(火)	9:30 ~ 11:30	講義	出来高管理、品質管理	小笠原 武	NPOすけっと百人会	JICA帯広	
	13:00 ~ 16:30	見学				札内川第二（二期）地区新札内第6号配水幹線用水路一連工事	
7/18(水)	9:30 ~ 16:00	講義	習得した技術と土地改良区の適用に係る留意事項と事例研究	金森 秀行	JICA 国際協力専門員	JICA帯広	
7/19(木)	9:30 ~ 16:00	講義	工事費の積算と工程表	金森 秀行	JICA 国際協力専門員	JICA帯広	
7/20(金)	9:30 ~ 12:00	実習	レポート作成指導3（アクションプラン検討会準備）	木下 秀俊	JICA帯広 プログラムコーディネーター	JICA帯広	
	13:30 ~ 16:30	実習	レポート作成指導4（アクションプラン検討会）		JICA、帯広開発建設部、NPOすけっと百人会	JICA帯広	
7/21(土)	～		休日				
7/22(日)	～		休日				

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等		研修場所	宿泊先
				氏名 (敬称略)	所属先及び職位		
7/23(月)	9:30 ~ 16:00	講義	農業試験研究機関と農業機械	森 元幸	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター芽室研究拠点 研究調整役	北海道農業研究センター芽室研究拠点	帯広
7/24(火)	9:30 ~ 11:30	講義	開かれた農村とファームイン	菅 浩和	十勝総合振興局産業振興部 農務課農業支援係長	JICA帯広	
	13:30 ~ 16:00	見学				藤田牧場 (鹿追町)	
7/25(水)	9:30 ~ 16:00	講義	PD法1 (説明と切り貼り)	木下 秀俊	JICA北海道 (帯広) プログラムコーディネーター	JICA帯広	
7/26(木)	9:30 ~ 15:30	講義	土木材料の特性と活用 (土質関係)	山岸 晴見 高橋 宣之 藤崎 浩孝	NPOすけっと百人会 株式会社 楠ズコーシャ	株式会社 楠ズコーシャ 総合科学研究所 土質試験室	
7/27(金)	9:30 ~ 15:30	講義	土木材料の特性と活用 (コンクリート関係) / 設計のための地盤調査	山岸 晴見 井上 誠司 久保 直樹	NPOすけっと百人会 株式会社 楠ズコーシャ	株式会社 楠ズコーシャ 総合科学研究所 土質試験室	
7/28(土)	~		休日				
7/29(日)	~		休日				
7/30(月)	9:30 ~ 16:00	実習	PD法2 (写真貼付と説明文作成)	木下 秀俊	JICA帯広 プログラムコーディネーター	JICA帯広	
7/31(火)	9:30 ~ 16:00	実習	PD法3 (製本と発表)	木下 秀俊	JICA帯広 プログラムコーディネーター	JICA帯広	
8/1(水)	9:30 ~ 16:00	実習	インテリムレポート発表会リハーサル/準備		JICA帯広	JICA帯広	
8/2(木)	11:00 ~ 12:00	評価会			JICA帯広	JICA帯広	
	13:30 ~ 16:30	発表	インテリムレポート発表会		JICA帯広	JICA帯広	
	16:30 ~ 17:00	閉講式			JICA帯広	JICA帯広	
	17:00 ~ 18:00	閉講パーティ			JICA帯広	JICA帯広	
8/3(金)	~		帰国				

年 度 別 受 入 実 績 表

1. 応募／選定（受入）人数

	24年度	累計
応 募 数	16名	16名
受 入 数	10名 (個別型を含む)	10名

2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国 名	24年度	累計
(アジア地域)		
アフガニスタン	○	1
ブータン	○	1
ミャンマー	○	1
パキスタン	○	1
フィリピン	●	1
ベトナム	○	1
(アフリカ地域)		
マラウイ	●	1
モザンビーク	○	1
ジンバブエ	○	1
スーダン	○ (個別型)	1
計	10カ国 10名	10カ国 10名